

連合鳥取
第20回定期大会 開催

大会
スローガン

地域に根ざした顔の見える運動を前進させ、
『働くことを軸とする安心社会』を実現しよう



連合鳥取は、11月22日(木)、倉吉未来中心・小ホールにおいて「第20回定期大会」を開催しました。
大会では、2013年度運動方針、2013年度予算等について論議・決定しました。



あいさつする五十嵐会長
司会/本川副会長 資格審査委員長/井本執行委員 運営委員長/春木執行委員
役員推薦委員長/小橋副会長 選挙管理委員長/松崎執行委員

左から/棚田代議員(日教組) 小谷代議員(電機連合) 提案する田中事務局長

大会には、連合本部・寺田総合労働局長をはじめ、岡村鳥取県商工労働部長、推薦・支持議員のみなさまを来賓として迎え、役員・代議員149人が出席した。
中間期となる本年は、昨年の「第19回定期大会」で確立した運動方針「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、鳥取県でどう取り組みを進め達成していくか、いかに強化していくかを確認していく年。そのために、より具体的な政策実現の取り組みや連合が提起する「1,000万連合実現プラン」の取り組み、非正規労働者の仲間づくり、労働条件底上げに向けた社会運動の展開などを含む補強方針が提案、確認された。あわせて、2013年度予算ならびに連合鳥取・地協連結

決算に伴う規約・諸規則の一部改定、役員補充(交代)についても承認された。
また、11月16日の衆議院解散により、急ぎ12月に実施されることになった総選挙・「鳥取県第2区」での湯原俊二候補予定者の推薦も決定し、湯原さんを迎え「必勝セレモニー」を開催した。五十嵐会長から湯原さんへ「推薦決定書」を授与するとともに「第46回衆議院議員選挙必勝アピール」を満場一致で採択、連合鳥取の仲間力を総結集し勝利することを確認した。
その後、「大会アピール」を満場一致で採択し、五十嵐会長の団結がんばろうで幕を閉じた。

大会アピール

東日本大震災から1年8ヶ月を経過し、復興に向けた様々な取り組みがされているが、被災地の復興は道半ばである。避難生活を余儀なくされている被災者は、今なお数十万人にのぼっており、福島原発事故の早期収束、被災者救済、復興計画・予算の執行など、人々の生活の安心につなげていくことが求められている。

わが国の情勢は、急速な少子高齢化の進行の下での社会保障政策と財政問題、デフレ脱却に向けた経済政策や雇用・格差問題など、持続可能性を脅かす構造的問題を抱えている。これに加えて、円高や国際金融危機など内外の情勢は一層厳しさを増しており、輸出産業はもとより、地域の経済や雇用にも深刻な影響を与えている。

一方、国会は、11月16日衆議院が解散した。民主党には、この3年間の政権運営の成果と課題を重く受け止め、生活者・勤労者のために責任ある政治により、希望と安心の社会の実現にむけて全力で取り組むことが求められている。

このような中、鳥取県内においては現下の経済情勢の影響を受け、企業の構造改革が進み、我々の仲間にも雇用不安が発生している。連合鳥取は、県内のすべての働く者を代表するローカルセンターとして、より一層、社会からの期待に応える必要がある。

そのためには、組織拡大によって運動を強化し、「実行力」や「政策力」、「社会的影響力」を高め、「労働運動の社会化」につなげていくことが重要である。
連合鳥取に結集する2万7千人の組合員が一致団結し、すべての働く人、働きたいと思っている人たちのために行動し、政治や社会への発言力を高め、連合がめざす『働くことを軸とする安心社会』の実現につなげていく。
構成組織・地協との連携を一層強化するとともに、志を同じくする幅広い人々や組織、団体との連携もはかり、新年度の運動を力強く展開していく。

地域に根ざした顔の見える運動を前進させ、『働くことを軸とする安心社会』を実現しよう!

2012年11月22日
連合鳥取第20回定期大会

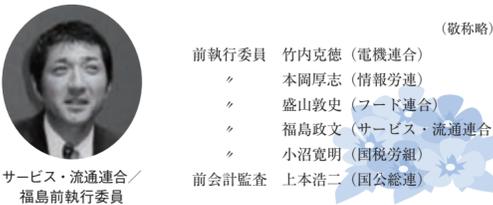
ごあいさついただいた来賓のみなさま



新規加盟組合あいさつ



退任役員 ~お世話になりました~



経過報告&議案・アピール提案



議案討議の様子 ~発言された代議員~



必勝セレモニーの様子



新役員 ~よろしくお願ひします~



特別決議 第46回衆議院議員選挙 必勝アピール

いま、この国のかたちが問われている。
私たちは、東日本大震災からの被災地の復興・再生に全力を尽くすことに加え、経済のグローバル化のなかでいかに国民生活の維持・向上をはかり、同時に世界に類をみないスピードで進行する超少子高齢社会をどのように支えあうのか、この国の未来を選択する時を迎えている。

2009年の政権交代は、格差社会を後押ししてきた市場万能主義にもとづく政策体系から大きく舵を切る契機となった。その結果、子ども・子育て施策の拡充、高校授業料の実質無償化、非正規労働者等に対する保護法制の強化、雇用のセーフティネットの拡大、中小企業への支援強化など、生活者・勤労者の視点に立った政策が実現した。

しかし、政権運営での経験不足や多数の離党者の発生など、政治の不安定化に歯止めをかけられない今の民主党に対する国民からの評価は厳しい。反省すべきは反省し、生活者・勤労者からの信頼の回復に取り組みなければならない。

私たちは、この3年間の政権運営の成果と課題を重く受け止め、生活者・勤労者のために責任ある政治を実現し、『働くことを軸とする安心社会』への歩みを進めていく。いまは、その正念場である。
連合は、公正や安全・安心を基盤として人々が支えあい、すべての働く者が希望と安心を持って暮らしていけるよう、志を同じくする人々と連帯して社会的な運動に取り組む。

連合鳥取は本日の第20回定期大会で、第46回衆議院議員選挙鳥取県第2区において、私たち連合組合員の思いを共有できる「湯原俊二」氏の推薦を決定した。

選挙まであと20日余りである。本大会以降、すみやかに闘う体制の確立をはかり、2万7千組合員の総力と行動力を結集して、連合鳥取の底力で勝利することを誓う。

以上決議する。

2012年11月22日
連合鳥取第20回定期大会